

# 労福協たより

2016年8月

第16号  
発行責任者  
小林 純一

## 第35回ボウリング大会を行いました！

2016年3月4日に第35回労福協ボウリング大会が江戸屋ボウルで開催されました。例年より少なめでしたが、20チーム80名が参加しました。綺麗なフォームで投げる方や、久しぶりのボウリングで四苦八苦されている方もいましたが、それぞれが思い思いに楽しんでいる様子で、会場は終始歓声が上がっていました。

<団体戦順位>

- 1位 富士厚生会 A (富士厚生会親交会) 1449 ピン
- 2位 KK300 (テルモ労働組合) 1254 ピン
- 3位 富士厚生会 B (富士厚生会親交会) 1095 ピン

<個人戦順位>

- 1位 望月 量美 (富士厚生会親交会) 432 ピン
- 2位 外山 和矢 (富士厚生会親交会) 426 ピン
- 3位 小林 拓矢 (富士厚生会親交会) 324 ピン



## 第6回森づくり活動を行いました！

第6回森づくり活動を2016年6月4日に実施しました。労福協役員や若者の会役員を中心に15名が参加されました。協力団体であるホールアースからはわし子さん・くりりんさん・ピーマンさん・あなごさんの4名が参加いただき、労福協メンバーのお手伝いをいただきました。今回もありがとうございました。

新しい参加者が多かったため、今回は3班から2班の編成に変更しましたが、何回も経験を積んだリーダーの計らいで途中から少人数の班が出来ました。素晴らしい作業効率のため、みるみる伐採されていく間伐材をひたすら運ぶメンバーの皆さん、本当におつかれさまでした。森は徐々に生き返ってきています。



## 第51回定期総会が開催されました！



2016年7月5日ろうきん富士宮支店の会議室にて第51回富士宮地区労福協総会を開催し、労福協会員の代議員や来賓を含め総勢59名の皆様に参加いただきました。来賓には、富士宮市の須藤市長、勤労者共済会の河原崎会長、県労福協の大滝専務理事の3名にご臨席いただきました。いずれも富士宮地区労福協との連携と協力に対する温かいメッセージが送られました。小林会長の挨拶の後、全6議案を提案し、全て満場一致の拍手で承認いただきました。メインスローガンの「連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」を採択しました。

2016年7月30日に皆さんに人気の企画「野球観戦バスツアー」を今年も開催しました。今年こそ東京ドームでの巨人対阪神戦を目論んでいましたが、やはり人気の対戦カードのため、チケットの確保が難しく実現できませんでした。例年申込みが募集人数を上回って抽選となっていたのですが、若干下回る155人の方に参加頂きました。

今年も連日の暑さが続く中での開催でしたが、屋内は空調が程よく効いており、観戦にはうってつけであった様子で、ビールの売り子さんが飛び回っていました。この辺がドーム観戦の素晴らしいところです。肝心の試合結果ですが、参加者の中で多くを占めるであろう巨人ファンには大変喜ばしい、ジャイアンツの快勝でした。故障で出遅れていたピッチャーが7回無失点の好投でした。野球観戦ツアーではご家族や友人の皆さんと楽しい時間を過ごしていただくよう、バス内では賞品付きクイズ大会も例年実施しています。



## 健康セミナー「脳いきいき講座」

2016年2月6日に富士宮市保健センターで、静岡県労働者福祉基金協会ライフサポートセンターしずおか事業部主催「脳いきいき講座」を後援し開催しました。参加者は100名の募集を上回る120名超の方が参加されました。

講師は、第一部「認知症の正しい理解」を日本認知症学会理事長の志村孚城氏、第二部「認知症の予防と秘訣」を浜松人間科学研究所所長の奥村恵理子氏が行いました。

認知症の理解と初期症状について、資料を基に詳しくお話いただきました。認知症とは、いったん正常に発達した知的機能が脳の障害により低下し、それまで可能であった日常生活に支障をきたしている状態とのことです。

人間の行動を決定する前頭前野の機能を低下させない生活の3原則は以下の内容でした。

- ・いつまでも意欲を充実させる。
- ・自分で計画し、実行する生活。
- ・人と人との交流を続ける。



是非、皆さんにも実行していただきたいと思います。また、当日ご挨拶いただいた富士宮地区労福協会長から、ご自身の経験をお伝えしたところ、参加者の皆さんも頷いていらっしゃいました。

今後とも皆さんの健康に関わる情報提供につながるセミナーの開催を心掛けていきたいと思っております。

**活動の詳細は「富士宮地区労福協ホームページ」を是非ご覧ください！**